

緑化通信

2016
8月25日
(年7回25日発行)
第453号



発行所 一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

第67回全国植樹祭

6月5日(日)長野市エムウェーブにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席のもと「第67回全国植樹祭」が開催された。



県内外から5,700人が集い、「信州から未来へつなぐ森づくりを」を大会テーマに、①植えて・育て・利用する「森林・林業サイクル」の

の実現、②森林や身近な緑の恩恵の再認識、③森林と共に生きる人々の活躍の発信を開催理念に掲げ開催された。

式典では、冒頭に熊本地震の犠牲者に黙とうをささげた。大会会長の大島理森

衆議院議長の挨拶に続き、全国の緑化功労者表彰や各種コンクール表彰が行われた。両陛下のお手植えでは天皇陛下がヒノキ、ウラジロモミ、コウヤマキの苗木を、皇后陛下が

シナノキ、タカトオコヒガシザクラ、ミズメの苗木を、お手播では天皇陛下がカラマツとタケノコの種子を、皇后陛下がシラカバとナカマドの種子を介添役の

平成28年度 第4回理事会を開催

6月23日(木)13時から協定会議室において理事13名、監事3名及び事務局出席のもと第4回理事会が開催された。

議事の内容は次の通り。
○平成29年度通常総会
加藤理事(中国・四国ブロック長)から、前回理事会の要請を受け会場、講演

再来年の開催県の福島県で植栽される予定のエンキの苗木が手渡され大会の幕を閉じた。

州ブロック研修経費
熊本震災に係る対応について緊急を要したため業務執行理事会において検討し、熊本県支部への見舞金と三役による現地見舞を行ったことを報告した。また、九州ブロックから5月に予定していた研修会は中止せざるを得なくなったが、研修会準備に費やした経費



継続、報告の取りまとめを行ってきたが、これらに要した経費の一部(20万円)を助成して欲しいとの申請があり、審議の結果承認された。

者等について検討した結果、会場を高知市のホテル日航高知として、旅行社の見積り合わせを行った結果、リゾートトラスト(株)に決定した。また、講演者は零細企業コンサルタンの栢野克己氏にしたいとの提案があり承認された。

○中間監査
午前中に実施した平成28年度中間監査の結果について、岡部監事から熊本震災への見舞金、債券の満期など動きはあったものの資産管理など適正に行われているとの報告があった。また、荒井監事から監査に会長と専務理事が出席されているが、監査には副会長も出席して財務状況を把握すべきではないかとの意見があった。

○林野庁補助事業応募結果と指名参加願
コンテナ苗に関する林野庁補助事業に応募したが選定されなかった。また、官庁に応募するための指名参加願(全庁統一資格)を提出して物品販売(植木)に関する資格を得たことが報告された。

環境緑化識別検定実施委員会 樹木識別ポイント講習会 第10回環境緑化樹木識別検定

6月11日13時~16時まで東京・日比谷公園「緑と水の市民カレッジ」において45名の参加者をもって開催された。



川原田氏(確実園芸芸場)

の樹種は約120種~500品種の枝葉の特徴を覚えて頂き検定試験にもチャレンジして、仕事や趣味にいかして欲しいとの挨拶があった。

さらに、受講者のアンケートでは生産圃場での講習会開催希望、年数回の開催を希望、時間が足りないのが午前中からの開催等のご意見を頂いた。

第10回環境緑化樹木識別検定
平成28年7月9日13時より東京農業大学1号館3階演習室で行われた。当日は雨で足元の悪い中、北は茨城県から南は鹿児島県の

試験の1級合格者は、業界でも活躍されているが、この識別検定は大変難しい試験であり、合格後も個人で、たえずわからない枝葉を調べては図鑑と見比べている様になったとの意見や毎年受験する方も数名おられるほどの試験になった。

○緑と水の森林ファンド
国土緑化推進機構が行っている「緑と水の森林ファンド」中央事業に、緑育出前事業として玉作りを申請したいとの提案があり承認された。(申請書の提出日:平成28年7月1日 申請金額100万円 事業期間は承認日から平成28年11月30日とする)

○クリアファイル
新樹種部会では、カレンダーに替わる宣伝ツールとしてクリアファイルを作成することとし、試作品の作成を行った。この試作品作成に要した経費の一部(20万円)を助成して欲しいとの申請があったことから審議したところ、このクリアファイルは協会の収益確保につながるものと考えられることから一部助成については承認された。

最初に大崎理事よりこの講習会がいかに重要であるか、川原田委員長からは今回

今回の参加者には国土交通省、環境省、神奈川、埼玉、兵庫県等の業務に携わる方や設計施工及び樹木医の方、そして一般の方及び学生と幅広い多くの方が受講された。

講師には、川原田委員長、吉澤、山崎、八木委員の4名があたり、3ヶ所に分かれて約40品種の樹木の特徴や見分け方を約50分説明を行った。

また、講習会参加者からは一度だけでなく年に数回の開催を希望する声が多かった。

試験の問題はかなり難しい様に見受けられた。試験は順調に進み予定時に終了した。

○耐乾性試験事業
平成25年度から3年計画で実施してきた「耐乾性試験」について、最終年度は国交省からの助成金が無かったことから、コンテナ部の経費をもって試験の

事務局より、次に事項について報告された。
・需給価格表(品質向上資料)・供給可能調査委員会報告・ビジョン検討会の開催・植生調査トレーニング講座、植生アドバイザー養成講座等



特にモミジ(カエデ)ではヤマモミジ、イロハモミ

3時間の講習会が終了後に、希望者を募り、日比谷公園内の植栽樹木の識別講



山崎氏(株ワイズプランツ)

試験は順調に進み予定時に終了した。

○耐乾性試験事業
平成25年度から3年計画で実施してきた「耐乾性試験」について、最終年度は国交省からの助成金が無かったことから、コンテナ部の経費をもって試験の

事務局より、次に事項について報告された。
・需給価格表(品質向上資料)・供給可能調査委員会報告・ビジョン検討会の開催・植生調査トレーニング講座、植生アドバイザー養成講座等

事務局より、次に事項について報告された。
・需給価格表(品質向上資料)・供給可能調査委員会報告・ビジョン検討会の開催・植生調査トレーニング講座、植生アドバイザー養成講座等

特集



コンテナ苗の可能性

林野庁国有林部業務課長 (元林野庁森林整備部整備課 造林間伐対策室長) 吉村 洋氏

1. 森林の循環利用 確立のチャンス

森林は、国土の保全、水源の涵養、木材の生産等の多面的機能の発揮を通じて、国民生活と国民経済に大きな貢献をしています。

戦後、先人の努力により営々と造成されてきた我が国の人工林資源は成熟し、植栽後50年を超える人工林面積は、全人工林の過半を占めています。

我が国の森林は本格的に循環利用することが可能な段階を迎えています。

今後は、主伐の増大が見込まれる中、林業の成長産業化を目指しつつ、森林の多面的機能を持続的に発揮させていくためには、間伐の着実な実施に加え、伐採後の再造林を確実に、「伐る」、「使う」、「植える」といった森林の循環利用を確立していくことが重要です。

こうした中、コンテナ苗の安定供給に対する期待が高まっています。

本稿では、今後の再造林の推進におけるコンテナ苗の可能性について述べてみます。

2. コンテナ苗の特徴

① コンテナ苗とは

コンテナ苗が注目される理由は大きく二つあります。

一つ目は、人口減少局面に入る中、生産に当たっての省力化が期待できるからです。



コンテナ容器



コンテナ苗の形状

二つ目は、森林資源の成熟に伴い主伐の増大が見込まれる中、再造林を確実に進めていくためには、「伐採から再造林までの一貫作業システム」(主伐の際に使用した高性能林業機械をそのまま活用し、伐採跡地の末木枝を除去して地帯えを行うとともに、これらの機械で苗木を搬入し、植付けを行うという作業システム)で、地帯え経費の大幅削減が期待されているものの普及が急務となっており、そのためにはコンテナ苗を用いることが有効な手段です。

リットにより「根巻き」が防止できるほか、容器底面が開放されていることなどにより、底に届いた根の成長が止まるため、裸苗で必要となる「根切り」作業が不要となります。

また、裸苗で必要となる床替えも不要です。このため、コンテナ苗は、広大な苗畑で生産される裸苗と比べて、作業の効率化と労働負荷の軽減がなされ、小さい面積で多くの苗木を生産することが可能であることも、育苗期間を短縮することも可能です。

なお、肥料や水分量の管理などに一定の技術水準が必要となりますが、その標準化が可能であり、関係団体や研究機関等によってマニュアル作成も進められています。

③ コンテナ苗による植栽 コンテナ苗は、「ダブル」や「スレード」と呼ばれる植栽器具を使って地面に穴をあけて、苗を差し込んで軽く踏み固めるだけで、誰でも簡単に植付けが出来ます。このため、地形条件等にもよりますが、大きめの穴を掘って、根を広げながら丁寧に埋戻すことが必要な裸苗よりも、植栽

効率を向上させることが可能です。コンテナ苗は、植える人の技術水準に対する要求度が低いとも言えるので、植栽の歩掛では、100本当たりの植付け人数は、裸苗が0.41人となっている一方、コンテナ苗は0.36人となっています。

また、コンテナ苗は、培地や肥料が一体となっており、枯死の可能性が低く、活着も良好で、裸苗などへの投資が必要となるほか、重量が大きいこと

から輸送費も増大し、この結果、供給価格が裸苗と比べて価格が1.5〜2倍と高くなっているのが現状です。

また、コンテナ苗の供給量は、平成20年度の2千本から、平成26年度の260万本(速報値)へと急速に拡大していますが、苗木の供給量全体に占める割合はまだ低位です。

このため、低価格のコンテナ苗を安定供給するための体制を構築することが重要となっています。

そこで、林野庁では、コンテナ苗生産に必要な機械・施設・資材の調達・整備、コンテナ苗の生産技術普及のための研修、伐採事業者と再造林事業者の情報共有・作業計画の調整等のための協議会の設置・運営等に対して支援しているところです。

さて、我が国の森林資源は1年間に1億㎡増加し続けています。これは年間の国産材利用量約2,400万㎡(平成26年)をはるかに上回る値です。

これほどの恵まれた果実が得られるのは、営々と森林造成に励まれた先人のたゆまぬ努力のおかげです。

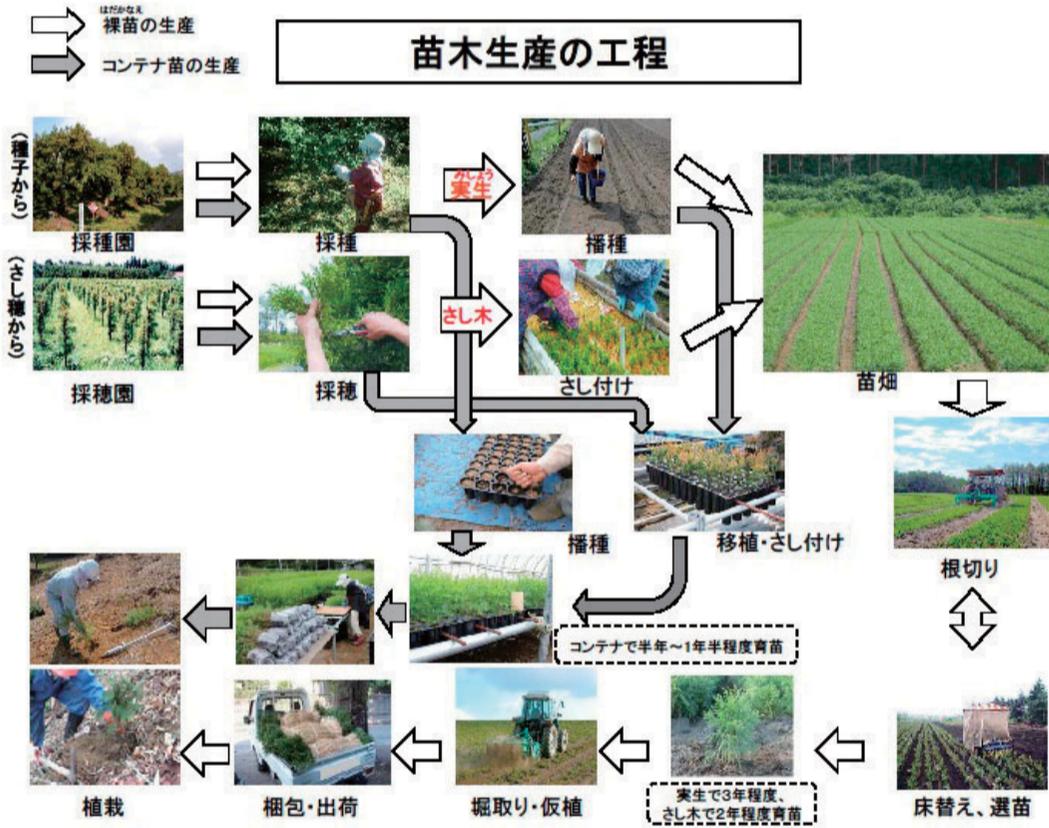
(吉村室長におかれましては、8月1日付をもって林野庁国有林部業務課長に栄転されました。)

この果実を有効に活用しながら、森林の循環利用を確立し、豊かな森林を次世代に継承していくことが私たちに求められています。

日本植木協会の皆様のおかげでは、大きく動き出すところにいる我が国の森林・林業にご注目いただき、コンテナ苗の安定供給を通じて豊かな森林づくりをお力をお貸しいただければ幸いです。

式典には、部員270名を有し全日本吹奏楽コンクール、全日本マーチングコンテストなど5冠を達成した柏市立柏高専学校吹奏楽部が出演して喝采を浴びていた。なお、協会からは、表彰を受けられた二村沢行氏、同行の事務局長楠野耕市氏と実倉会長、佐藤専務理事が出席した。

苗木生産の工程



(図) コンテナ苗と裸苗の生産工程

第二十七回 「みどりの愛護」のびじゅん

6月12日(日)千葉県立柏の葉公園において、皇太子殿下同妃殿下のご出席のもと第二十七回「みどりの愛護」のつどいが開催された。式典では、石井啓一国土交通大臣、森田健作千葉県知事の挨拶のあと、功勞者に国土交通大臣表彰があった。この功勞者表彰では当協会員である大分県二村沢行氏が理事長を務める特定非営利活動法人アイラブグリーン大分が、「緑の講座」「協働の森づくり」「生物多様性」一落ちは「ごみで無い」など緑の役割の再認識を促す活動が評価され栄誉ある表彰を受けた。

皇太子殿下からは、はじめに熊本地震で被災された方々へのお見舞いがあり、



特定非営利活動法人アイラブグリーン大分 (中央下: 二村沢行氏 大分植木(株))

リレー連載 うえきのちから ~植木が届ける宝物~

いいお仕事されていますね!

全国1級造園施工管理技士の会 会長 松本 朗氏



「いいお仕事されていますね!」

初めてお目にかかる方に「造園会社で仕事しています」と言うと多くの方々にこの言葉をかけられます。自分もとてもこの仕事が気に入っています。でも全てに納得できているわけではない。どこか本質から外れてないかと不安に思うことも多い。

植物が無ければ人を始め動物は生きていけない。彼らがいなければ酸素もできなかった。彼らがいなければ食べるものもない。人は地球上最大の消費者です。「日本野」という書物の中で茶人千宗室さんは「私たちは地球に「間借りしている身」という表現をされており大変共感いたしました。人は地球の最悪の害獣だと感じる事が少なくありません。

よく判断に迷う時に1992年リオで開催された地球環境サミットでの当時12歳の日系カナダ人セバン・スズキのスピーチを聞きなおすようにしています。「あなたたち大人は直せないのに壊してはいけない!と私たちに言いながら森を伐採しどんどん砂漠化させている。森に戻す術も知らないのに・・・喧嘩をしてはいけない、話し合いで解決しなさいと言いながら戦争をやめようとはしない・・・」等々この原稿が紙面に出る頃にはリオオリンピック・パラリンピックが開催されているでしょう。ユーチューブで検索すれば聞く事が可能です。

「NPO 緑の大地会」という団体での活動で、「大地を踏みしめる会」という市民団体の活動もサポートをしています。リーダーがケニアでワンガリマータイさんと出会い、彼女が一生懸命砂漠に植樹をしているのに感動し帰国。日本で「大地を踏みしめる会~大人の遠足~」と称し遠足を企画。参加者から1回500円の植樹代を徴収。その代金で今年3月と4月あきる野市乙津でサクラほかを65本植えてきました。あきる野市乙津には龍珠院という寺があり、ご住職と奥様を中心となり近所を巻き込んで乙津を桃源郷にしようと手弁当で頑張っておられていま



一造会京都研修 造会のイベントの中でも一二を争う人気研修

した。そこへ都市生活者「大地を踏みしめる会」の面々が関東各地より集まり、植樹をさせていただきました。都市生活者が歌を歌いながら現地に入り、地元の人々はおにぎりや地元で採れた菜っ葉汁でもてなす。自然と笑顔が連鎖していきます。

緑には人を集う力があります。緑の周りにたくさんの笑顔。人が森とともに生きてきた証です。日本は放っておけば草が生え、やがて木が育つ

素晴らしい気候にあります。世界には草も生えない地域の方がはるかに多いのです。日本人は本当に幸せな気候に住まわせていただいています。先人たちは自然に寄り添い、自然に生かされながら慎ましく生活することで、長く地球と過ごすことを知っていました。もう一度その意味を見直す時がきました。そして日本人だからこそ世界に発信できるのです。

一造会では海外研修や登山しながらの植生調査、一造会大賞など緑をより楽しむための勉強を日々行っています。造園は学べば学ぶだけ深く楽しい! 皆さん共に楽しみましょう!! 「造園楽し! 一造会」



富士宮どんぐり林 NPO 緑の大地会が開催している自然体験型イベント ツリークライミングは大人にも子供にも大人気



大地を踏みしめる会 大人の遠足 参加者から植樹費用を徴収

松本 朗(まつもと あきら)

全国1級造園施工管理技士の会(通称:一造会)会長。株式会社苑友造園代表取締役。株式会社富士植木取締役。NPO 緑の大地会副理事長。日本大学農獣医学科林学専攻で林業や森林生態学、造園を学び(株)富士植木に入社。沖縄海洋博記念公園熱帯ドリームセンター、葛西水族園、国営越後丘陵公園などの現場を経て、国営昭和記念公園日本庭園、中国昆明世界園芸博覧会での日本政府出展庭園、箱根湯元にある礎生塾迎賓館庭園など伝統的庭園築庭に携わる。大径木移植やロープワークによる剪定などの特殊な工事にも多く従事。一方、造園技術者はより市民に近い専門家としてあるべきとの思いから、富士宮どんぐり林における自然体験会やあきる野市乙津などでの市民活動にもNPO 職員として積極的に関与。

第5回 人間の健康を守る「果樹の力」

NHK ラジオ番組「夏休み子ども科学電話相談」などでおなじみの田中修先生にご紹介いただく「果樹の力」。日々の暮らしに取り入れて毎日を健やかに過ごして下さい。

イチジク

甲南大学特別客員教授 田中 修氏



世界最古の栽培果樹



(畠山内浩史デザイン室蔵)

イチジクはクワ科の果物で、原産地はトルコ、イランなどの西アジアやアラビア半島(西南アジア)です。日本には、江戸時代にもたらされ、当時は、「トウガキ」や「ナンバンガキ」といわれていました。

2006年、アメリカのハーバード大学の研究チームが、イスラエルのヨルダン渓谷の遺跡から、この果物の実を発掘し、「一万一千年以上も前に栽培されていたものである」と発表しました。それをきっかけに、現在、「この果物が世界最古の栽培果樹である」と考えられています。古くから栽培されていたことを裏付けるように、旧約聖書の創世記でも、最初の人間とされるアダムと、その妻であるイブが、エデンの園で、裸のからだを隠したのはこの果樹の葉っぱとされています。

この果樹は、一ヶ月で熟すという意味で、「一熟」と書かれ、これが「イチジク」と読まれました。また、その日に収穫しないと、次の日には、実の先端部分にある口が大きく開いてしまっ「一日で熟する」という意味で、イチジクといわれたとの説があります。このようになってしまうと、見かけが悪く、価値が落ち、出荷ができなくなります。

また、「花が無いように見えるのに、果実がある」という意味で「無花果」の字が当てられています。しかし、イチジクには、花がないわけではなく、果実の中にある赤いつつつぶが花です。現在では、日本のイチジク生産の約八割を占めているのは、1909年、榊井光次郎氏がアメリカのカリ



イチジクの花は実の中

フォルニアから持ち帰った苗木から育成された「榊井ドーフィン」という品種です。この品種は、在来種と比べて、果実一個が大きく、一株からの収量も数倍あります。また、このイチジクは雄株、雌株が別々の雌雄異株で、雌株は受粉しなくても、果実を肥大させるという性質をもっています。そのため、タネはできなくても、果実は大きくなるので、「タネなしフルーツ」なのです。

古くから「不老長寿の果物」

「世界最古の栽培果樹であるなら、健康にもよかったのではないか」とも思われます。イチジクは、その通りに、昔から「薬の木」とか、「不老長寿の果物」といわれてきました。ポリフェノールを多く含み、カリウム、カルシウムなどのミネラルも豊富だからです。

近年は、抗がん作用があるとされる「ベンズアルデヒド」や、血圧降下作用のある「プソラレン」などが含まれているといわれます。ザクロエラグ酸が含まれているので、肌が黒くなる原因であるメラニンという色素の生成を抑えます。そのため、美白効果があると考えられます。

イチジクでは、実や、実を支えている柄の部分を押ると、切り口から白い液が出てきます。少しドロツとしています。虫や鳥などの動物がイチジクを食べようとして、実や柄をかむと、このドロツとした液が出てきて、嫌がらせの効果は十分にあるでしょう。ですから、この液は、虫や鳥などの動物から食べられることから、からだを守っているのです。また、傷ついたときに侵入してくる病原菌を退治するために、イチジクは、このような液をもっているのです。

しかも、この液には、タンパク質を分解する「フィシン」という物質が含まれています。このおかげで、イチジクとお肉をいっしょにしておくと、肉のタンパク質が分解されるので、肉がやわらかくなります。また、私たちは、肉料理の食後にイチジクを食べることにより、消化を促進してもらえます。



新樹種部会

平成28年度通常総会開催

平成28年度新樹種部会通常総会は6月7日(火)13時よりメルパルク東京6Fで24名の部会員の出席を得て、丹下副部会長の司会で進行された。

開会の前に4月に発生した熊本・大分大地震で亡くなられた方や昨年から協会会員関係者で亡くなられた方のご冥福を祈り、全員で黙とうを奉げた。

真鍋副部会長の開会宣言で総会が開始された。

森川部会長の挨拶では、震災に遭われた方々への見舞いの言葉と部会として、協会と共に協力支援を惜し



まいなどの決意を述べられ報告がなされた。

つぎに、組織改革の取り組みと部会PRの強化、受注拡大に向けた更なる活動強化、そして協会との連動を更に強める旨、決算時期

の変更を審議して頂く挨拶があった。

来賓挨拶では、六倉協会長より協会事業協力のお礼と今後の環境緑化木生産で重要な役割を担う部会である事、新しい造園樹木の普及にこれからも続ける事を願う言葉と協会事業に更なる協力の要望を含んだ挨拶を賜った。

続いて溝口担当理事より、協会事業への協力のお礼と新しい市場への活動を希望する挨拶を賜った。司会者より議事に先立ち議長選出を出席者に求めたところ、議長には埼玉県支部城見章氏が選出された。議長は議事録署名名人に群馬県支部瀧沢政巳氏と神奈川県支部小川喜良氏を指名し、出席者の承認を得た。

第1号議案

平成27年度事業報告及び監査報告は、森川部会長より会員動向及び主要会議報告に続き、各委員長(大野小委員長、栗原小委員長、真鍋小委員長、金岡小委員長、山崎小委員長、石川小委員長)から事業報告、決算報告後に尾上監事より事業及び決算が問題無く遂行しているとの監査報告が行

われた。議長は報告を受け、審議し採択を行い、賛成多数で第1号議案が承認された。

第2号議案

平成28年度決算期変更案について、森川部会長より変更理由は事業が期を過ぎ、予算と決算がずれまう事、業務の忙しい時期と重なる事、他団体と連動

が取りづらい等の理由により、会則を変更し事業の円滑遂行を目指すことを目的に5月1日~11月30日とする提案と29年度以降は12月1日~翌年11月30日とする報告を受けて審議した。議長は採択を行い、賛成多数で第2号議案が承認された。

第3号議案

平成28年度事業計画案は、森川部会長よりの決算期間変更の趣旨説明後に、大まかな事業説明が有り、各小委員長より具体的な事業計画案、また事務局より予算案が提案された。議長は審議後採択を行い賛成多数で第3号議案が承認された。

総会関連事項は出席者の協力のもと、全てを定刻に終了し、大野副部会長の閉会の辞で終了した。

第4号議案

役員改選案について

平成28年度役員は森川部会長より7か月間の役員のため、27年度の役員が留任し、28年度役員候補者案が事務局より発表され、議長は採択を行い、賛成多数で第4号議案が承認された。

新樹種部会総会記念講演

6月7日記念講演第一部は東京農業大学名誉教授造園伝道師 近藤三雄先生より、「時代を読んだ新樹種の新たな展開(サブタイトル)・加筆修景、香り、和の風情、東京五輪がキーワード」として14時30分より開演された。



近藤三雄名誉教授

講演内容は、植木産業は日本の環境の整備の根幹をなすと言いつ自負を一般社団法人日本植木協会及び新樹種部会をもって行動し、ビジネスに徹底した協会及

び部会であるべきで、協会員は生産、卸に携わる植木のプロとして活動、日本植木協会の日本列島植物園活動は日本植木協会しかできない活動であり、さらに参加者を増やし、圃場を見本園として公開して行く事は素晴らしいことである。協会のPRがもっと必要と、さらに見学者や使用者の同行を分析し、何が売れるかを徹底して調査分析し生産販売に取り組むことが必要である考への内容であった。

庭園木は財産であり、5年、10年で販売されるものではなく、100年、2000年の世代を超えて販売する

ものなので、もっと価値を評価すべき意見、先人の「横浜植木」の偉業は、明治26年には海外向けに英文のカタログを作成し、海外に植木輸出事業を行っていた様にもっと協会も積極的に海外に目を向けて事業を行うべきである考え。

都市の公園や緑地の樹木が老朽化による樹木の更新が遅れている点について、協会としての生産の取り組みをPRすることが必要である意見。

明日の目黒区役所屋上緑化、大橋ジャンクション公園及び農大一校屋上緑化の概略の説明があり。最後に植木生産業に子弟が後を継ぐ魅力ある商売で



安藤敏夫名誉教授

あるかを会員皆さんが考え行動を起こす時である意見を述べて近藤先生の第一部講演は終了した。

総会記念視察

6月8日の庭園視察は近藤三雄先生案内のもと、24名が参加し、8時30分にホテルを大型バスで最初の視

察目黒区役所屋上緑化「十庭」に向かった。目黒区役所庁舎はもともと千代田生命本社ビル(建

築家村野藤吉先生設計)を2003年より庁舎として利用している屋上を東京農業大学と緑化に関する協定書を通じて近藤先生の計画監修により造られた庭園であった。

初日の講演は両先生の専門を生かした有意義な講演であり、参加者より質問が多く出され、丁寧な両先生がお答えくださり森川部会長の謝辞で定刻に終了した。

庭園名は村野藤吉先生の名前を拝した「目黒十五庭」とし、信楽焼の鉢を利用し、東光園で貸し鉢で利用していた樹齢80年以上のマツを中心に植栽され、また、縁石も信楽焼で統一された解放感のある庭園であった。

なお、この庭園に使用された樹木を提供した多くの部会員の名前が刻まれた名板を見る事が出来た。つぎに首都高速大橋ジャンクション「目黒天空庭園

と厳しい条件のもと施工された報告。こちらの設計コンセプトは和風モダンを強調した庭園であり、利用者に体力的負担を軽減するために休憩スペースを多く取り入れている。使用植物は見栄えが良いクロマツを中心に、シラカシ、常緑ヤマボウシ、桜類の高木等と四季の花が楽しめる低灌木を植栽し、根元にツワブキ、ギボウシ、オモトの和風植物を使用していた。同公園は一般公開されておりに自由に見学出来る屋上緑化公園であった。最後に世田谷区と農大で協定を結んだ馬事公苑前緑地と東京農業大学第一高校屋上緑化を視察して定刻になり視察は終了した。

結果の取りまとめを行うことになっていて、このことから、検討委員会において協会の現状把握、今後の在り方等について検討を行う年度内に報告書を作成することとした。

日本列島植木植物園 ナショナルプランツ コレクション

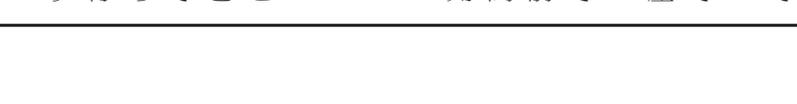
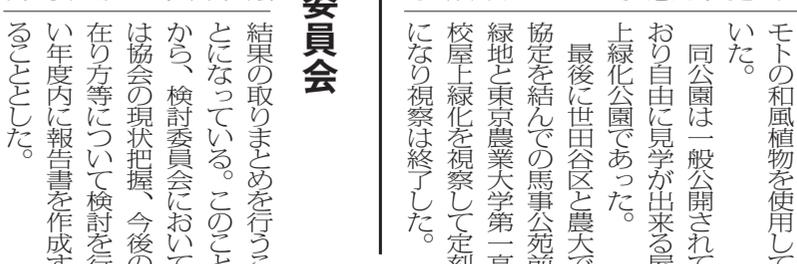
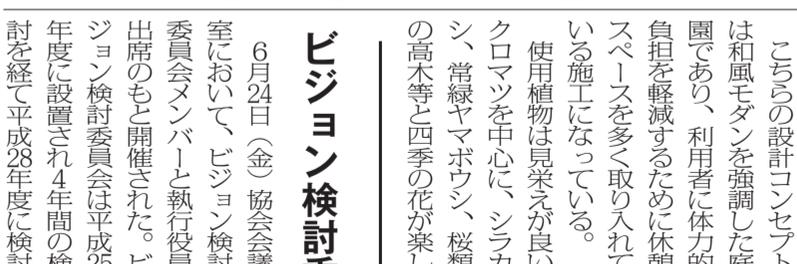
ムクゲ

- *アオイ科フヨウ属 落葉樹 樹高3.0メートル位
- *別名を「ハチス」とも呼び、夏の茶花として欠かせない。
- *新しく伸ばした枝に花芽が付くので、花付が良い。
- *強剪定に耐え、後に伸びる枝にも開花する。

代表的な品種

玉兎(タマウサギ)	宗旦(ソウタン)	コンテド エイモン斑入	バイオレットウェーブ
アーデンス	ハマボウ	ラベンダーシフォン	圓の丸(ヒノマル)
ラッシュホワイト	赤花笠(アカハナガサ)	光花笠(ヒカリハナガサ)	(株)ワイズプランツ 山崎隆雄

※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立つ事を目的としたコレクションです。



学校紹介

未来の業界を担う若者たち

三重県立四日市農芸高等学校 環境造園科

本校の概要

本校は四日市市の一番南に位置し、鈴鹿市との市境にある。伊勢平野・伊勢湾を見下ろせる丘の上にある。四季緑に包まれた閑静な環境である。農業学科4学科(生産科学科、食品科学科、環境造園科、園芸科学科)と家庭学科を併せ持つ高校である。

特色ある取り組み

①技能五輪への挑戦 五輪を目指す生徒は勿論、造園技術コースに所属する全生徒の「ものづくり」に対する意識を高めることをねらいとしている。特に造園に関して高い意識と技術を持った生徒を安定して業界に輩出することが目標である。



資格取得の様子

平成25年度から技能五輪全国大会に参加し、26年度に敢闘賞受賞、27年度は銀賞を受賞した。これは、造園になじみのない中学生に造園の良さを伝え、進路選択の一つにしてほしいことと3年生がこれまでの実習で培った技術を生かす場面として行っている。この取り組みが中学校の間で地域や園業を中心に現場実習を行っている。これは、早い段階



技能五輪の様子

②出前認定実習 3年生の課題研究の一環として、平成26年度から近隣の中学校を対象に出前認定実習を行っている。これは、造園になじみのない中学生に造園の良さを伝え、進路選択の一つにしてほしいことと3年生がこれまでの実習で培った技術を生かす場面として行っている。この取り組みが中学校の間で地域や園業を中心に現場実習を行っている。これは、早い段階

③資格取得

造園を学ぶ者の登竜門として2年生で3級造園技能士検定を多くの生徒に受験させ、その合格者の中からさらに技術を深めたい者に3年生で2級造園技能士検定を受験させている。また、現場で役立つ資格として玉掛けや小型車両系建設機械運転、移動式クレーンなども取得できるように指導している。

④現場実習

3年の春休み中に3日間、地元の造園業者を中心に現場実習を行っている。これは、早い段階



出前実習の様子



現場実習の様子

地域性植物適用委員会 勉強会を開催

7月14日(木)13時から全国燃料会館において林野庁造林間伐室長の吉村洋室長を講師に招き勉強会を開催した。



林野庁 吉村 洋氏

勉強会は、地域性植物適用委員会、植生調査委員会及びコンテナ部会合同で行い32名の出席があった。講話は、「コンテナ苗の可能性」―林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮に向けて―を議題に行われ、世界と日本の森林にはじまり林業経営の動向、再造林を低コストで推進する必要性及びコンテナ苗の現状と課題について行われた。

講話のあとは林野庁に対する要望等についての質疑応答が行われ、①全国山林種苗協同組合連合会(苗組)に加入申請したが断られた。②苗組に加入していただく。③コンテナ苗の活用について。④コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑤コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑥コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑦コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑧コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑨コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。⑩コンテナ苗の補助金を申請したが不採択となった。



勉強会風景

青年部会 平成28年度 幹事・支部長合同会議を開催

7月7日(木)の13時より、宮城県仙台市、情報・産業プラザ、AER6階において、青年部会幹事、各支部長、石井理事、事務局で、計29名の参加のもと、28年度幹事・支部長合同会議が開催された。各支部への事前アンケートをもとに、4班に分かれ、各議題、議題1、会員減とブロック統合について。議題2、年会費について。議題3、活

動の充実とブロック間の連携強化について。議題4、総会時期について。議題5、面白い研修先について議論し、ホワイトボードで発表するというディスカッション方式で進められ、これからの弊協会の発展に向けて話し合った。また、9月14日(水)の青年部会全国研修会(大阪)についても案内された。



部会だより・コンテナ部会 現状と活動報告

コンテナ部会長 吉澤 信 行 氏 (株)小金井園・東京都

今般の熊本地震、および水害に被災された会員の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

部会長の吉澤です。コンテナ部会の現状と、活動報告をいたします。



軽井沢千住美術館の植栽

現在コンテナ部会の会員は、12名です。27年度は2名の退会者が出ましたが28年4月には1名の新規入会者がありました。

世代交代で若い部会員も増えていきます。

協会の一般社団法人移行に伴って組織改革がありましたがコンテナ部会も28年度より委員会構成を見直し、部会長の下に3名の副部会長をおいて各委員会を担当しています。

4月には、東京ビッグサイトで開催された「エクスティアエキシビジョン2016」においてコンテナガーデンの設置に参加しました。

6月には、「(一社)緑のまちづくり支援機構」の年次総会に出席。この団体は緑あふれる都市環境を創造するため異業種の会社が協力して活動していますが植物を扱っているのはコンテナ部会だけです。去年の

夏に、お台場のおもてなしガーデンに、2020年のオリンピック、パラリンピックを見据えた緑の休憩所とも言べきガーデンを作りました。今後もツル植物を中心に使えるような植物を提案して行きます。

7月14日には、地域性植物適用委員会、植生調査委員会との合同で林野庁森林整備部整備課の吉村室長をお招きしてコンテナ苗(マールチキャビティ)、小花粉スギ苗の生産等の勉強会を実施しました。コンテナ部会としては全国山林種苗協同組合連合会との対応もあり今後の検討課題となります。



おもてなしガーデン

今年度の部会研修会は9月に1泊2日の予定で軽井沢と埼玉花園地区

調査・研究では、26年、27年に国土交通省の補助事業で屋上緑化に適した植物の選抜試験である「耐乾燥性試験」を全国3か所の部会員の圃場で実施した結果を、今年度は解りやすく取りまとめ設計者サイドに提案できる資料にする予定です。

部会員の減少により部会予算も減る中、これから、協会内の活動のみならず他団体との協働によって少しでも収益を上げられるような動きをしたいと思っております。たとえば、前年度好評だった「ぼっと見ガイド」の次のシリーズ化を今後企画したいと考えております。

特集

H29年度 通常総会の講演者 栢野 克己さんに聞く

■栢野克己(かやのかつみ)。ジャーナリスト・作家・講演家。インタークロス代表。中小企業の成功事例を取材執筆。著書に「小さな会社☆儲けのルール」「やずやの秘密」「弱者の戦略」「逆転バカ社長」など。福岡市出身。立命館大学卒業後、ヤマハ発動機・リクルート・中小ベンチャーを経て広告代理業で独立。2002年から取材執筆と講演業に移行。趣味は新興国へのバックパッカー。家族4人で世界一周経験も。詳細は「かやのかつみ」で検索。



初めまして。栢野克己(かやのかつみ)と申します。中小零細自営業の成功事例を取材執筆・紹介するジャーナリスト・著者・講演家です。「かやのかつみ」で検索すると、ホームページやブログ、フェイスブックやYouTubeなど約7万件ヒットします。本は6冊出版。この8月に「新版 小さな会社☆儲けのルール」が出ました。アマゾン「中小企業経営」ジャンルで14年連続ベストセラー1位の続編です。様々な業種の成功事例が約50社載ってます。機会があればご覧下さい。



所詮はマスコミ記者や大学教授と同じ口先評論家。現場のことは何もできません。しかし、中小零細自営業を専門に約20年ほど、各業界の成功事例を取材・執筆・出版・講演を行ってきました。正直、植木業界のことは何も知りませんが、異業種の事例から、皆さんにもなにかヒントになることがあれば幸いです。今日は毎週水曜朝6時半の早朝勉強会に出ていました。会場は酢や青汁など健康食品通販「やずや」(グループ年商300億)で、矢頭美世子会長も参加していました。私の前職は広告代理業で、1993年からやずやに出入りするようになりました。当時の年商は10億円。その10年後に100億を超え、一時期は「香酢」の大ヒットで400億に。現在は250~300億前後ですが、多くのことを学ばせてもらってます。やずやは現会長の美世子さんと亡夫の宣男さんが1975年に脱サラ。1年で靴クリームや贈答品の販売など3つの事業に失敗。結婚式の司会バイトの合間にはじめてクロレラの訪問販売で年商4億に。毎月数百万円残るようになり、「オレは

天才だ!」とほぼ毎週キャバレー通い。が、好事魔多し。40歳の時に仕入先のメーカーが倒産し、売る商品が見つからずに羽毛布団やぶら下がり健康器具なども全部失敗。実質廃業で借金2200万円を抱え、再起動は夫婦で結婚式司会業+副業で健康食品販売。転機は夫婦とパート1人で年商6500万円の44歳。居酒屋で出逢った社長から誘われ「中小企業家同友会」に入会。直後に行われた「経営計画作成セミナー」へ参加。合宿の参加者は15人(年商数千円~3億以下の社長)でしたが、ここで生まれて初めて、夢や目標、人生計画や経営計画を書いたそうです。それぞれペラ1枚程度。各自発表し、皆から感想や意見やアドバイス・ダメ出しも。この時のメイン講師が「キューサイ」創業者の長谷川さん。「お前の天職は何か?」「まだ決めてません。司会業と健康食品やっていますが、ほか弁屋もいかなど」「中小零細が2つも違う商売やってはダメだ。もう44歳。一つに絞らねば」「なら司会業ですね」「そんな職人芸は自分が倒れたら終わり。なぜ健康食品をメインにしない?」「健食はうさん臭いですから。成功しても自慢できない」「なに言うか!オレはニチレイの冷凍卵焼き下請けをやめ、今は青汁にチャレンジしている(当時数億円)。青汁はキャベツの原種で栄養価も高い。どこに出しても恥ずかしくない商品だ。健康食品がうさん臭い?それはお前がうさん臭い人間だから、うさん臭い商品に手を出したんだ。お前の経歴では健康食品しかないじゃないか!お前はそれしか役に立たない男じゃないか!」と怒鳴られ、殴られた時、「体に電流が走った。これしかない。健康食品に一生を賭けようと思った」と矢頭さん。この創業14年の44歳・年商6500万円・社員3名の時に初めて経営理念と経営計画書を作成し、事業を健康食品に一本化。スイッチ入った翌年は健食で2億弱。48歳で自社オリジナル商品「養生青汁」を開発。これがヒットして、その後のニンク卵黄や雑穀米、香酢につながります。運命を変えた44歳の経営計画セミナーと師匠との出逢い。金儲けの健康食品から、健康食品で人の役に立つという理念でスイッチが入った。当初1Pの経営計画書は現在約80P。毎朝、朝礼で全社員が1Pずつ唱和しています。



薬用植物のすすめ その5

薬効がある緑化植物(木本)

株式会社常磐植物化学研究所 資源開発部長 柴田忠裕氏



普段緑化樹として扱っている木本植物の中に、薬効ある成分を持つものがある。うまく組み合わせると、観賞しつつ実用性も得ることができる。ただし、利用に当たっては、個人で処方せず薬剤師に相談すること。

テンダイウヤク: 生薬名は烏薬(うやく)。中国南部原産のクスノキ科の常緑低木で、雌雄異株。我が国へは江戸時代に渡来したとされるが、紀伊半島や四国、九州などでは野生化している。互生する葉は革質で長さ5~8cm、広楕円形で先が尖り、3本の明確な葉脈がはいる。春に葉腋から薄黄色で散形花序の小花をつけ、秋に径1cm弱の果実が黒熟する。株が暴れないため、生け垣等にも使われる。



テンダイウヤクの樹形

薬用部は根で、冬から春に掘り上げて日干しする。煎液は苦みが強い。漢方では、気のめぐりを良くし、胃腸を丈夫にする。ボルネオール、リンデランやリンデレンなどのテルペン類が含まれ、根を折ると樟脳に似た香りがする。



テンダイウヤクの葉

トチュウ: 生薬名は杜仲(とちゅう)。中国原産のトチュウ科の一種の落葉高木で、雌雄異株。生育は旺盛で、年間1m程度伸びる。葉はケヤキに似た楕円形、花は緑色を帯びた白色で、その後翼果をつける。葉、枝、幹皮を傷つけると銀白色の糸をひく。これはグッタペルカ



トチュウの葉

によるもので、強い血圧降下作用がある。薬用部位は樹皮で、煎液は苦くて渋みがある。強壮、鎮痛鎮静作用があり、血圧を下げる。また、筋骨を丈夫にするため、慢性関節疾患に用いる。葉を煎じた杜仲茶は、血圧の降下や肝機能の機能向上に効果があるとされ、密かな人気がある。



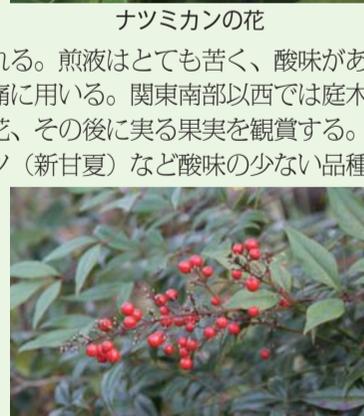
ナツミカン果実

ナツミカン: 生薬名は枳実(きじつ)。ミカン科の常緑小高木で、樹高は5m前後。1700年頃に山口県長門市の海岸に流れ着いた柑橘の実生個体が元株と言われ、その株は現在でも生存している。果実は他の柑橘類と同様に秋以降黄熟するが、春までは酸っぱくて食べられず、初夏まで置くと食べられる事からナツミカンと呼ばれる説が一般的である。薬用部位は未熟果で、半分に切ったものが使われる。煎液はとても苦く、酸味がある。芳香健胃作用があり、胸腹満・胸腹痛に用いる。関東南部以西では庭木として植えられ、5月に芳香のある白い花、その後に来る果実を観賞する。現在ではアマナツ(甘夏)やシンアマナツ(新甘夏)など酸味の少ない品種が多く栽培される。



ナツミカンの花

ナンテン: 生薬名は南天実(なんてんじつ)。メギ科の常緑低木で、株元から細い幹が叢生する。関東から九州に分布し、「難転」に通ずることから、厄除けの木として庭植えされる。6月頃白い小花を円錐状に密生し、秋に径6mm位の果実が赤熟する。秋から冬の紅葉も見応えがある。果実が白いシロミナンテン、矮性のオタフクナンテンや糸葉のキンシナンテン、近年は黄葉に赤色が入る品種等がある。薬用部位は成熟果実で、煎液は苦い。赤実より白実の方が珍重される。アルカロイドの一種であるナンテンンを含み、鎮咳薬として喘息や百日咳に処方される。近年は、ナンテンのど胎が流通し身近なものとなっている。



ナンテン実



紅葉が美しいオタフクナンテン

中国・四国ブロック隠岐研修会

足立 洋氏
(南足立農園 島根県)

5月10・12日島根県の日等で乗り合わせして10分ほど境港に移動し、食事を隠岐の島での研修会を開催いたしました。隠岐の島は島前(知夫痢島)(中ノ島)(西ノ島)と島後(隠岐の島)からなり。どちらの島も隠岐の島固有種、亜種の進化をとげた植生がはぐくまれています。今回は島後(隠岐の島)での研修となりました。

参加者の集合解散の時間を考慮して行きは境港発11時50西郷着13時13分。帰りは西郷港発13時20分七類港着15時2分の各々高速船という事で行きと帰りが違う港を利用することになり七類港に11時に集合して皆さんの車は帰りの七類港に置き、用意した移動用の車



ろうそく岩



かぶら杉

ですが残念な状況です。次に途中で中村町の道路のすぐ脇にあるかぶら杉(6本立ち、樹齢推定6000年樹高38・5m)に立ち寄り五箇村の村上家シャクナゲ園に到着です。

村上家シャクナゲ園では奥様のお出迎えをうけ地元植物研究家の野津さんの説明と案内で約2ヘクタールの山肌に1万本のシャクナゲが咲き誇るシャクナゲ園を見学しました。

隠岐シャクナゲは日本シヤクナゲの一種でツクシシヤクナゲの変種であるホンシヤクナゲの品種としてあつかわれ。ホンシヤクナゲに比較して葉全体が小さく薄く、先が丸みを帯びています。もっとも低地で自生している種類で花は美しくピンクから白で花弁の先が7つに分かれています。ここではシャクナゲの生息に適した条件(斜光と湿度と排水性など)にうまい具合に合致した環境を斜面の杉林を利用して作り出しています。咲いた後の花芽摘みとか管理は大変ですと奥さまがおっしゃっていました。来年も立派に咲くといひすね。このあと近くのエビネ蘭。園で隠岐固有亜種の



岩倉の乳房杉

草花見学をしてローソク島観光、夜は懇親会で隠岐の幸と地酒で大盛り上がりでした。

2日目は布施村の隠岐シヤクナゲ自生地へ向かいました。途中であらかじめ相

談しておりました布施村役場を訪ね、村役場の植物生息巡視に合わせ目的地的道案内をして頂きました。布施村から大満寺山へと川沿いの道を進みます。少し走ると自然がそのままあるような世界がはじまります。木々の下にはシダソテツの群落が広がります。最初に登山道の入り口手前にある岩倉の乳房杉(幹周11m。主幹が地上数mのところでは15本に分かれており大24個の乳房状の根が垂れ下がっておりその中で最大ものは長さ2・6mは周



村上家シャクナゲ園

2・3mで年々すこしずつ伸長している、樹齢約800年、樹高30mの巨木です)によりました。この木は前に鳥居があり山の神様として祭られています。残念ながら登山道入り口についた時は大雨+低温で登山道にはいるのは危険と判断し、車で終点の中谷の展望台のほう(オオサンショウウオの生息地)に案内していただき、隠岐シャクナゲを含む植物を見学、又役場の管理の仕方や苦勞話などのお話をお聞きしました。まだまだ観たい所は多々ありますが時間の都合上以上で今回の視察は終わりとしました。

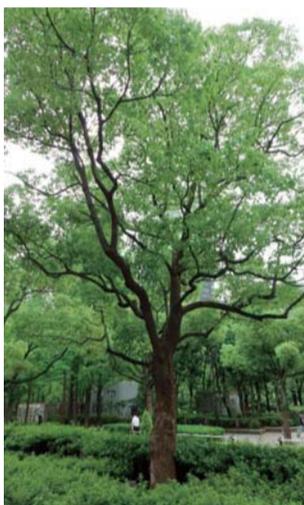
そのあと海岸に松林の残る隠岐最北端の中村地区の支援が取り上げられている。植木屋には何が出来るのだろうかと考えさせられる日々であった。

地方かわら版

植木屋にできる事

7月12日に熊本に行ってきた理由は関西ブロックの有志から頂いた義援金を九州ブロック(熊本支部)に手渡す為である。

4月に起きた熊本大地震で被害を受けた仲間達に何か出来ないかと関西ブロックの役員会で話し合った結果義援金がいいのではという結論になったからである。



青年部が寄贈したクスノキ

たが行くだけで迷惑になるという意見もありこの結果に至った。

テレビでは、芸能人の炊き出しや有名人ピニストのテント村設置など色々な

6000人以上の人が亡くなり大多数の家屋やビルなどの損壊を目の当たりにした。

震災から2年後の平成9年5月に震災復興にあたり植木の生産、流通業者の団体として植木という商品で少しでも貢献し、緑豊かな生活環境の創造に寄与する。

という名目のもと兵庫県

の県木であるクスノキの記念植樹を行った。その木は今も神戸市役所前東遊園地フラワーロード沿いで育っている。

戦争を知らない我々世代にとって生まれて初めて見る光景がそこにあった。ちょうど私が青年部の兵庫県支部長の時である。

震災から2年後の平成9年5月に震災復興にあたり植木の生産、流通業者の団体として植木という商品で少しでも貢献し、緑豊かな生活環境の創造に寄与する。

という名目のもと兵庫県

の県木であるクスノキの記念植樹を行った。その木は今も神戸市役所前東遊園地フラワーロード沿いで育っている。



長田の復興のシンボル鉄人28号

はたして何人の人がこのクスノキの成長を見て復興の力としてもらったかは定かではないが今も元気に育っている。

クスノキは今も成長しているの(クスノキは今も成長しているの)

震災から21年、今では震災などなかったかのごとく街は復興を遂げた。

はたして何人の人がこのクスノキの成長を見て復興の力としてもらったかは定かではないが今も元気に育っている。

クスノキは今も成長しているの(クスノキは今も成長しているの)

震災から21年、今では震災などなかったかのごとく街は復興を遂げた。

29年度協会オリジナルカレンダー

29年度協会オリジナルカレンダーについて、NHK出版「趣味の園芸」編集部との協力を得て作成いたします。

価格：350円(税別) / 1部(最少ロット10部、送料別途)

申込締切日：9月15日(木)

申込み：別途申込み用紙にて

2017年	1	2	3	4	7	8																								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

部会だより・青年部会

関西ブロック研修会

関西ブロック 中西 誠氏 (株)中西園材・滋賀県

6月14〜15日、関西ブロッ...

近年、会員の減少が深刻...

空間となっていました。...

では、映画などの撮影ロケ...

年に上海から持ち込まれた...



ハウステンボス



トックリノキ (ポトルツリー)



15時頃ようやく研修の...

翌日は、待ちに待った軍...

実際にいってみると、当...

風を感じることで長崎を...

香り…雑感。 第6回

アオギリの花が香る？

足澤 匡氏 (小岩井農牧(株)・岩手県)

ある夏の日、前夜の豪雨が嘘の...



アオギリの並木。強風後はチャンスかも・・・。

特の香りは、魅力的で忘れられない。...



お世辞にも綺麗と言えない花ですが、香りは魅力的でした。

お知らせ

平成28年度庭園樹部会通常総会開催のご案内

- 庭園樹部会通常総会及び視察研修会を...

平成29年度通常総会開催のご案内

- 平成29年度通常総会を下記の内容にて開...

日本列島植木植物園運営委員会 平成28年度 秋の視察研修会開催のご案内

- 1. 日時 平成28年10月13日(木) 10月14日(金)

広報事業に関するアンケートのご回答、貴重なご意見をどうもありがとうございました。

会員動向

協会・退会

- ▷(有)木之下樹苗園(宮崎県) 木之下 幸雄

社名変更

- ▷(新) (株)菊池緑販(茨城県)

メールアドレス変更

- ▷(有)小田原植木(神奈川県)

訃報

- 北野俊廣様(大阪府) 北野緑生園(株)(北野裕之氏父)

人事異動

- 国土交通省 6月21日付け